

地域の医療機関の役割

各病院では、相互に連携を図りながら地域医療の充実に向けて取り組んでいます。
地域の各病院に、次のことをお聞きました。

- ①「地域がひとつの病院」として機能する医療提供体制の中での病院の役割・特色
- ②重点的な取り組みと今後の展望
- ③市民の皆さまへのメッセージ

社会福祉法人恩賜財団 済生会新潟県央基幹病院

地域の中核病院として高度専門的な医療に対応

- ① 当院は、急性期病院(*1)としての役割を担っています。ER救急(*2)により、幅広い症状の患者にできる限りの対応をするとともに、手術などの高度専門的な医療に対応しています。近隣病院と連携し、地域全体が「ひとつの病院」のように機能することを目指しています。
- ② 当院は急性期の患者に対応する病院ですが、当院だけで全ての患者を賄うことはできません。比較的症状が落ち着いたり、治療の方向性が定まった患者には、近隣病院や専門医療を担う病院に転院いただき、引き続き経過観察やリハビリ、在宅への橋渡しをしていきます。当院から自宅へ戻られる方は、地域の病院や診療所、介護施設との連携や、行政からの生活支援も含めたサポートが必要となることから、関係機関とのより密接な連携体制づくりに取り組んでいます。

県央地域は若い医師が少なく、次世代の人材育成が課題です。地域の病院や行政の協力を得ながら、若手の医師が学べる環境を整えていきたいと考えています。また、令和7年度から県立三条高校に理数科が設置されることに伴い、同校と、今後の医療を担う高校生と一緒に教育していくための協定を、昨年11月に締結しました。これを機に、他校の高校生や小中学生からも医療に関心を持ってもらえるような取り組みをしていきます。

行政が進める病気の未然防止や重症化予防のなどの取り組みにも協力していきます。さらに、医療分野と工業分野の連携である「医工連携」や、地域の一員としてまちの活性化にも携わっていきます。

- ③ おかげさまで無事開院し、できる限りの対応をしておりますが、十分にできないところもあります。住民の皆さまの期待に添うよう、医療の充実に一層努めてまいります。

(*1)急性期病院:急激に健康状態が悪化している患者や救急患者を対象に、24時間体制で治療や手術を行う病院。
(*2)ER救急:ERはemergency roomの略で、救急室、あるいは救急外来を意味する言葉。重症度や傷病の種類、年齢に関係なくすべての救急患者の診療を行う救急医療システムのこと。

県発行「上手な医療機関のかかり方」

広報さんじょう1月1日号の折り込みとして配布しました。
地域の医療機関の役割分担についてお伝えしています。



ところ 上須頃5001番地1
☎47-4700

診療科目 31科
(詳しくはホームページをご覧ください)

外来受付時間 月～金 8:30～11:00
(急患を除き予約制)

休診日 土日祝日、年末年始

ホームページ
<https://www.kenoh.saiseikai.or.jp/>



特集2

一人一人が必要な医療を受けられるように

健康づくり課
☎34-5443

一人一人が必要な医療を受けることができるよう
地域の医療機関の適切な受診をお願いします

本号特集1でお伝えしたように、まずは健(検)診を受けていただくことが大切ですが、病気にかかってしまったときなどは、医療機関を受診することになります。

特集2では、市民の皆さまに病状に合った受診をしていただくために、地域の医療機関の役割をお伝えします。



地域がひとつの病院

昨年3月に済生会新潟県央基幹病院が開院し、県央地域では、「地域がひとつの病院」のように各医療機関が役割を分担し、連携を図りながら機能する医療提供体制になりました。

市内には、済生会新潟県央基幹病院のほか、地域密着型病院、専門領域の医療・救急を担う病院、慢性期の医療を担う病院、日常の外来を担うかかりつけ医としての診療所やクリニックなどがあります。

風邪を引いた、少し指を切ったなどのときには身近な医療機関を受診し、より高度で専門的な医療が必要になったときには、かかりつけ医が作成した紹介状を持って済生会新潟県央基幹病院を受診してください。

一人一人が必要な医療を受けることができるよう、市民の皆さまのご協力をお願いします。

医療機関がそれぞれの役割を分担し、地域全体で診療します

